

2025年7月28日

中央教育審議会大学分科会質向上・質保証システム部会教育・学習の質向上に向けた新たな評価の在り方ワーキンググループ 御中

教育・学習の質向上に向けた新たな評価の在り方についてのコメント

一般社団法人新経済連盟
渉外アドバイザー 小木曾 稔

1. 現状認識

- (1) 下記の観点から、見直しは必要不可欠。
 - ・評価が有効に必ずしも機能していない高等教育機関もあること
 - ・社会経済構造が大きく変化する中で教育自体がアップデートする必要があること
 - ・産業界が求める資質・能力の要請につながっているかは不明確であること 等
- (2) 認証評価制度を積極的に活用することで学内の改革等取り組みを対外的に発信していくことは、急速な少子化という時代背景を踏まえても、高等教育機関の責任者が意識改革をしていく必要があるのではないか。
- (3) 認証評価の目的としては、質保証だけでなく質向上もあることを積極的に位置付けるべき。
- (4) 高等教育政策が掲げる政策目標との関係、大学評価の国際ランキングの低下などの客観的な外部指標との関係を踏まえて、認証評価それ自体のKPIや認証を受ける高等教育機関の質の保証と向上を定量的定性的にどのように考えるかということについて、議論を深めていく必要があるのではないか。
- (5) AIの登場などを受けて、そもそも学びの内容が抜本的に変わっていくことを踏まえ、評価もどうするかを一体的に考えることが必要。
- (6) 大学での質の保証・向上の取り組みや改革は、高校以下の教育の在り方にも大きく影響を及ぼすものであるので、一体的な検討・取り組みが必要であることに十分留意する必要がある。

2. 目指すべき第三者評価（認証評価）

- (1) 経済社会の大変動の中で将来の日本の国力維持や向上のためには、どのような教育が行われるかを明確に示すことは各高等機関において必要。教育は、国家百年の計である。このためには、自らの高等教育機関がどういうミッション、ビジョン、ポリシーを掲げどのようなプログラム・カリキュラムを設け、それをどのように実装しているのかということを再考する機会として、評価の枠組みが使われるように積極的

に位置付けるべき。

(2) 当連盟では、昨年の提言で、これから求められる人材像をコンピテンシーとして提示し、それを身につけさせるために、こどもの成長発達段階に合わせて各教育課程における「アントレプレナーシップ教育」の必要性を示唆。文部科学省も本年3月に「日本版 EntreComp v1」を公表。このようなものが評価制度の中で進められることが望ましい。

(3) 質保証だけでなく質向上を行った高等教育機関を高く評価し、評価結果に基づいて国が適切な支援をしていくことが必要。

3. 新たな評価制度に求めるもの

(1) 教育の質の保証と向上の双方を達成するための実質的な評価の確保

- ・内部保証システムが機能しているかというプロセス評価(大学評価基準への適合不適合の2分類の評価)だけでは、形式的なものに流れる一方で、肝心なことを評価していないということにもなりかねない。
- ・高等教育機関が輩出したいと思っている人材像は何か、それを確保するためにどのようなカリキュラムを組みどのような工夫を行っているのか、大学のビジョンやポリシーに対して実績をどのように評価し把握しているのかなどが評価制度を通じてトータルで評価されるべき。
- ・評価対象は、大学全体ではなく、学部研究科等にすることでより評価の質を高めることが必要。
- ・教育の質を段階別で、定性的定量的に示すことにより、単なる教育の質の保証だけでなく質の向上を図ることを明確にする。
- ・上記検討の際には、国内外の先行優良事例を十分に踏まえる必要がある。

(2) 経済界の知見の活用や経済界との連携

- ・高等教育機関、評価機関、経済界の会議体(常設含む)の創設などの検討
- ・評価機関の評価の枠組みに経済界の声も反映される仕組みをつくる
- ・カリキュラム等を含めて外部民間企業との連携など外部に公開されていることを評価項目とする

(3) 時代のニーズをどのように把握しどのように答えようとしているのか(AIやデジタルに関する教育など)、つまり、時代に応じてどのようにアップデートできているのかが評価制度を通じてわかるようにする

(4) 卒業生の学習実績や卒業生のその後の動向の把握なども必要である。

4. 社会へのアカウンタビリティ

国民がわかりやすい評価結果の公表は、ダッシュボード的な構成として、民間の知恵を十分に活用する。また、教育データのオープンデータ化の一環として積極的に国を挙げて対応すべき。オープンデータに当たっては、加工しやすい形での公表も重要である。

以上